

令和3年度 第1回糸島市総合教育会議 議事録

【開催日時】 令和3年11月30日（火） 16時00分から16時30分まで

【開催場所】 糸島市役所 本館3階 庁議室

【出席者】

（構成員）

月形 祐二市長（議長）、西 憲一郎委員、古川 泰永委員、松尾 実恵委員、
宗 聖子委員、家宇治 正幸教育長

（事務局）

中村 隆暢企画部長、野口 治光秘書広報課長、川山 裕一秘書広報課秘書係長
（教育委員会事務局）

小金丸 敏浩教育部長、土肥 英雄教育総務課長、吉永 政博学校教育課長、
山下 千恵子生涯学習課長、村上 敦文化課長、岡部 裕俊文化課企画監、
金子 剛教育総務課総務係長、石硯 晃子学校教育課指導係長、
上田 暁学校教育課指導係主幹

（傍聴人）

なし

【開会】

■月形市長

ただいまから、『令和3年度 第1回 糸島市総合教育会議』を開催する。
会議規則第4条第1項の規定に基づき、進行を務めさせていただきます。

【議事録署名構成員の指名】

■月形市長

会議規則第9条第3項の規定に基づき、構成員の中から1名を指名させていただきます。
「古川 泰永委員」を議事録署名構成員に指名させていただきます。
⇒異議なし。

【協議事項】

(1) 次期糸島市教育大綱の策定方針について

■月形市長

それでは、協議事項に入る。
今回、次期教育大綱の策定に向けた方針が事務局から示されているので、この策定方針
について、構成員の皆様からもぜひご意見をお伺いしたい。

[主な質問・意見]

■西委員

前大綱の各目標は、必要な事項が網羅されており、引き継ぎながら検討することは妥当であるが、2018年度の前大綱策定以降の社会・経済状況の変化が、教育政策に与えた影響はしっかり考慮する必要があると考える。

まずは、『新型コロナウイルス感染症による影響』である。企業活動は低迷し、各種のイベントや対面授業、学校行事等も中止や延期を余儀なくされるなど、経済状況にも教育環境にも大きな影響を与えている。最近では新たな変異株の出現などもあり、いつまで続くのかまだまだ先が見えない状況である。そのような中、インターネットを活用したオンライン会議などが急激に増加しており、あらためてICTの利活用、ICT教育の重要性を感じたところである。

次に、コロナ禍の影響もあると思うが、『若い世代の将来に対する不安』である。特に非正規職員は不安を感じていると思う。就職したくても就職ができない、賃金も安い、そのような将来に向けて不安を感じている若者に対して、教育がどのように関われるものか、あらためて考えていかなければならない。この先、IT化が進展すれば、現在の職業の6~7割がなくなるとも言われている。そのような中、子どもたちが将来の社会を生き抜いていくためにも、『生きる力』を育てていくことが特に重要になってくるのではないかと考える。

また、最近では信じられないような事件や犯罪が起きている。この原因を考えると、倫理観や道徳の問題もあるが、家庭や社会における『人間関係の形成力』が落ちてきているのではないかと考える。幼児期の家庭環境等も影響しているのではないかと考える。また、学校においても、自然体験や社会体験など、色々な経験をしていくことが、人間関係の形成に結びついていくのではないかと考える。

以上のように、様々な観点から様々な影響を考えながら次期大綱を作り上げていくと良いのではないかと考えている。

■古川委員

私としては、糸島の子どもたちにつけてもらいたい力ということを中心に考えている。

1つは『素直さ』である。この素直さがないと子どもたちは伸びない。それとともに、2つ目に『礼儀』、3つ目に『夢や志に向けた努力の継続』である。この3つがあれば、子どもたちは必ず社会で成功し、自立していくことができると考えている。

また、第2次糸島市長期総合計画の中の政策1『家庭教育』、政策2『保育・学校教育』、政策3『社会教育』、これらがきちんとかみ合っていかなければ、子どもたちの育成はできないと考えている。

そして、今後より一層糸島市が子どもたちを育てるために、また、関係部署が連携するために、子ども教育部が新設されたこと、生涯学習や文化振興が市長部局に移管されたこと、あわせて各部署が、子どもたちを中心に据え、教育部局と市長部局がしっかり

と連携していくシステムとなる組織改編、非常に良かったと思っている。

GIGA スクール（教育のデジタル化）についても、これからしっかりと進めていかなければならないが、糸島においてもいじめや不登校が増加しており、『心の教育』を強力に推進していかなければならないと考えている。

ぜひ、以上のことを踏まえながら、次期大綱を策定していただきたい。

■松尾委員

SDGsの目標4『質の高い教育をみんなに』を中心に検討をしていくこととしているが、イギリス情報誌「MONOCLE（モノクル）」で糸島市が世界の第3位に選ばれたように、糸島の良さは、自然豊かで美しい景観、玄界灘の海の幸や新鮮な野菜などで、それらが日本だけでなく世界に注目された点であると思っている。

そのため、次期大綱はSDGsを紐づけていくということであれば、ぜひSDGsの目標14『海の豊かさを守ろう』と目標15『陸の豊かさを守ろう』についても、あわせて検討していただきたいと思う。

SDGsでは、子どもの時からその意識を根付かせましょうということが、国連において提言されている。糸島の子どもたちは、今でも糸島の自然について授業で学んでいるが、これだけ素晴らしい自然の中で育っていくためには、やはりこの自然を保全していかなければならない。環境保全の意識向上を教育の中に盛り込んでいただきたい。

GIGAスクールやICT教育、もちろん大切なことだが、自然は『心の教育』のベースとなるものと考えている。今の子どもたちが大人になっても、その自然が守られているような教育につなげていきたいと思っている。

■宗委員

私自身が子育てをする中で、将来『糸島で育ってよかった』と思えるまちであること、『糸島を支えていこう』と思えるような人材を育てていくことが大切と感じている。現在市外にいる息子も、糸島の交通は不便だが、豊かな自然に囲まれており、子育ては絶対に糸島でしたい、将来は糸島に戻ってくると言っており、友人たちも共感していた。市外に出ていく人もいると思うが、糸島市内にいても市外にいても、前大綱の重点目標にもあるように、『郷土愛と誇り』を持ち続けてほしいと思う。

■家宇治教育長

各委員からいただいた意見をしっかりまとめながら、次期教育大綱案の作成に臨んでいただきたい。

また、教育大綱は4年間、教育振興基本計画は3年間の計画期間であり、すでに今年度から新しい教育振興基本計画が始まっている。教育大綱と整合をとるためにも、新しい教育大綱が策定されれば、それに合わせて時点修正等の見直しを行うこととしているので、それを意識しながら大綱案の作成を進めていただきたい。

内容としては、子どもたちが『郷土糸島』を大切なふるさととして思い続けられるよう、糸島人としてのアイデンティティを育てること。そしてそれが、これからの世界や日本の様々な場面で活躍する子どもたちの基盤となる力になってくるということを大切にしながら盛り込んでいただきたい。

もう一つは、新しいこれからの社会を想像したときに、ICT 教育や外国語教育などは、これからの社会に必ず必要なものになってくるため、そのような方向性を盛り込んでいただきたい。

最後に、九州大学や西南学院大学、中村学園大学・短期大学などとの連携についても、その資質を存分に活用できるような方向性を盛り込んでいただきたい。

以上のことを斟酌しながら、大綱案の作成を進めていただければと思う。

■月形市長

委員の皆様から、大変貴重なご意見をいただいた。

ご意見にもあったように、糸島市は『MONOCLE (モノクル)』で世界第3位に選ばれ、最近では、『住み続けたい街』のランキングで福岡県の第1位に選ばれている。

市長に就任した際、『住みたい街』のランキングでは上位であったが、『住み続けたい街』では第12位であった。住んでいる人にとっては不便な街が、様々な方の努力により、住み続けたい街として高く評価された。この8年間の取組が、市民の皆様にも評価されたものと思っている。

また、『ブランド糸島』を推進し続けながら、農林水産物だけでなく、自然環境、人、教育がブランドになるようなまちづくりをしたいという思いで取り組んできた成果であると思っている。

次期教育大綱の策定に向けては、本日の会議でいただいた貴重なご意見を十分に参考にさせていただきますと思う。

(2) その他の協議事項

■月形市長

そのほか、委員の皆様から、協議事項等あればお願いします。

⇒なし。

【その他】

■月形市長

議事以外の件について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

今後のスケジュールとして、2月の第2回総合教育会議で次期教育大綱案の説明及び審議、3月の第3回総合教育会議で教育大綱の決定を予定している。

【閉会】

■月形市長

以上をもって、令和3年度第1回糸島市総合教育会議を閉会する。

糸島市総合教育会議規則第9条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

(糸島市長)

(議事録署名構成員)
